

じぶんの町を良くするしくみ。

# 赤い羽根共同募金

令和5年度共同募金運動

実施期間

R5.10.1~R6.3.31



この町で集まった募金は、

この町の困ったことのために使われます。  
子育て支援や高齢者の配食支援に使われたり、  
災害支援や地域の見守りパトロールなど、  
支援する人をサポートする資金として使われています。  
支えられたり、支えたり。赤い羽根共同募金は、  
その町の貯金箱のように使ってもらうもの。  
そが、「じぶんの町を良くするしくみ」なのです。

意志あるお金、募金のチカラ。

## 赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金は、地域の高齢者や障がいがある人、子どもたちなどに対するさまざまな地域福祉活動を支える「じぶんの町を良くするしくみ。」です。共同募金は、福祉活動に主に役立てられるほか、募金の3%は災害時のボランティア活動への準備金として積み立てられており、もしもこの生駒市で大きな災害があったときには、全国から応援が届くしくみです。

この町を良くするために、困っている人たちを支えるために、今年も赤い羽根共同募金活動に、地域の皆様のご協力をいただけましたら幸いです。

### 赤い羽根共同募金実績のご報告（令和4年度）

昨年10月から実施した共同募金運動では、多くの皆さまから多大なご協力をいただき、ありがとうございました。

戸別募金（自治会）	5,705,120 円	学校募金	116,103 円
街頭募金	124,113 円	職域募金	283,456 円
法人募金	654,000 円	その他	316,817 円
赤い羽根共同募金			7,199,609 円
歳末たすけあい募金			3,904,224 円



生駒市共同募金委員会

〒630-0257

生駒市元町1丁目 6-12

生駒セイセイビル4F

TEL:0743-75-0234

FAX:0743-73-0533

# 集まった募金はどんなことに使われている？

## “ありがとうメッセージ”のご紹介

集まった募金は、地域で行われるさまざまな福祉活動の支援のほか、コロナ禍での支援活動などにも活用されています。生駒市での使いみちの一部を紹介します。



**子育て支援**  
～北第二地区民生児童委員協議会～

コロナ禍で中止していた親子で楽しめるイベントをようやく開催されました。たくさんの笑顔があふれる時間を過ごすことができ、これからも継続して、地域の子供たちが楽しめる場を作っていきたいですとのお言葉を頂きました。



**地域ささえあい活動助成**  
～あすか台ふれあいサロン～

高齢者が閉じこもりにならないようお互いに見守る場を作ることを目的としてふれあいサロンを開催しています。「地域ささえあい活動助成」で購入した拡声器で、参加者の皆様に音声を明瞭にお届けすることができるようになりました。



**学用品リユース事業**  
～生駒市社会福祉協議会～

コロナ禍に引き続き物価高騰などを受け、市内全11局の郵便局と連携して不要になった文房具などを回収し、子育て世帯の必要な方に無料で配布する取り組みを行っています。  
「ノートや鉛筆、消しゴムなど、学校で使っています。ありがとう！」と笑顔で文房具を手にとられています。



**出前講座**  
～生駒市社会福祉協議会～

福祉をテーマに車いす体験、アイマスク体験、点字・手話体験等のメニューを通じ、地域に住んでいる高齢者や障がいがある人などの生活を心と体で体験していただき、その上で「自分たちに何ができるだろうか」と実際に行動へ移す一歩先のことについて考えるきっかけづくりを行っています。